

観光立国への道と地域政策

—インバウンドの高まりの中で—

永田 尚三 (関西大学)

2016 年 7 月 9 日 (土)、10 日 (日) の両日、関西大学高槻ミュージックキャンパスにおいて日本地域政策学会第 15 回全国研究【大阪】大会が開催された。会員だけでなく、公開で行われたシンポジウムには非会員の方々も来場され、約 160 名の参加者により充実した 2 日間となった。また、自分にとっては、二度目の日本地域政策学会開催となった。

委員長の佐々木茂教授 (高崎経済大学) を中心に学会企画委員会で立案されたシンポジウム「観光立国への道と地域政策 ～インバウンドの高まりの中で」では、相澤美穂子氏 (公益財団法人日本交通公社総務部企画創発課長 主任研究員)、井口貢氏 (同志社大学政策学部政策学科教授)、松田美幸氏 (福岡地域戦略推進協議会シニアフェロー)、南賢二氏 (高崎経済大学地域政策学部観光政策学科教授) から示唆に富む魅力的な報告がなされ、佐々木茂企画委員長をコーディネーターとして活発な議論が行われた。プログラムが並行していること、開催校事務局としての役割もあったことから、すべてを拝聴することはできなかったが、5つの分科会や31本の個別報告とともに、充実した2日間のプログラムは、今後の地域政策に対して一つの視座を提供できたと確信している。

特に、今回のシンポジウムのメインテーマであるインバウンドは、地域政策において、極めて重要な研究課題である。安倍政権が観光立国を目指してインバウンド政策を推し進めているこの時期に、その正に渦中にある大阪での研究大会のテーマとしては、これほど相応しいテーマはそうそうない。

本原稿を平成 28 年 12 月末に執筆しているが、旅行サイト「楽天トラベル」がまとめた最新の 2016 年の訪日外国人客 (インバウンド) の人気上昇エリ

アランキングでは、人気の上昇率がもっとも高かったのは香川県の「高松・さぬき・東かがわ」だったという。3年に1度開かれる「瀬戸内国際芸術祭」で、会場となる離島へ交通の拠点地として、外国人客を引き寄せたらしい。

一昨年、瀬戸内のアートによるまちおこしの中心地の一つである直島に行って、その外国人客の多さに驚かされた。日本人客よりも、はるかに外国人客の方が多く印象を受けた。それも、富裕層の外国人客が多かった。船をチャーターして、複数の離島を巡っている外国人客も見かけた。わが国では、根付かないと長年言われ続けてきた、欧米型の長期滞在型リゾートの可能性をそこに感じた。

数年前には、考えられなかった現象が、今全国で起こっている。インターネットで簡単に、地方の観光情報が得られるようになり、リピーター訪日外国人客の増加等も相まって、ゴールデン・ルートと呼ばれる東京—名古屋—京都—大阪から、外国人客の観光範囲は確実に拡大している。正に、地域の創意工夫次第で、外国人客を獲得できる時代となってきているのである。交通の便等の立地条件に関わらず、地域の魅力を上手く情報発信で来た地域や、おもてなし体制の整備出来た地域は、外国人客が足を運びつつある。それだけに、地方としては、言い訳の出来ない時代が到来したのかもしれない。

そのようなインバウンドの高まりの中で、学術的に本テーマに関し、地域政策の視点から議論・考察する機会を持てたことは、幸運なことであったと思う。

最後に、大会開催に際し多大なご理解とご協力をいただきました関係各位に、厚く御礼申し上げます。

第 15 回全国研究【大阪】大会概要

大会テーマ：「観光立国への道と地域政策 ～インバウンドの高まりの中で」

主 催： 日本地域政策学会

開催日： 2016年7月9日（土）～10日（日）

会 場： 関西大学 高槻ミュージズキャンパス 西館

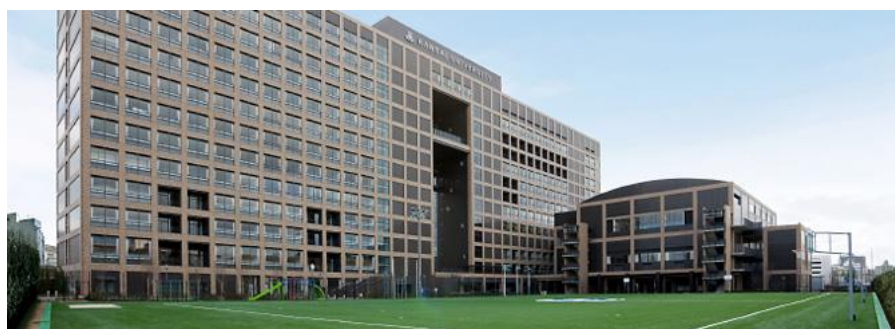
1. シンポジウム： 2016年7月9日（土）13：45～17：15

《趣旨》

わが国で観光立国が提唱されて、早12年が過ぎ、ようやく海外からの訪日観光客が2000万人を超えようとしています。その結果、ゴールデン・ルートと呼ばれる東京－名古屋－京都－大阪では、百貨店やチェーン店を中心とした大型店に免税コーナーが設置され、購買意欲の旺盛な観光客の集客に成功し、それが地域経済にも活力を与え始めています。2015年上期には、大阪の商業地基準地価が全国伸び率1位を記録しました。観光客の増加は、単に訪問先でのお土産や食の消費を通じた雇用や所得を増加させるに止まらず、帰国後も訪問地域のイメージを自国に持ち帰り、農産物やその加工品、さらには、自国に進出している和食の消費にも貢献するなど波及効果が大きく膨らんでいます。

インバウンドによって、地域のイメージを広げられることから、全国の自治体では、積極的に地域の観光、農産物、中小企業の輸出振興を図るところも増えています。一方で、これまでの観光政策においては、必ずしも外国人観光客の「地域文化の体験」に対するニーズには応えられているとは言えません。2016年全国大会では、こうした観光立国に端を発する地域の活性化の課題とこれからを考えることにしたいと思います。

※大会冊子掲載のものです。



【写真】 会場の関西大学高槻ミュージズキャンパス（関西大学 HP より）

《シンポジウムタイムライン》

- ◆13:45～13:55 趣旨説明・基調報告者並びにパネリストの紹介
佐々木 茂 氏 (コーディネーター) [企画委員長・高崎経済大学経済学部教授]

- ◆13:55～14:55 基調講演
相澤美穂子 氏 [公益財団法人日本交通公社 総務部企画創発課長 主任研究員]

- ◆15:00～16:30 パネルディスカッション
 - ・各パネリストによるインバウンドと地域政策に対する問題提起 (各 15 分)
 - ・提起された問題点に対するディスカッション (30 分)

相澤美穂子 氏 [公益財団法人日本交通公社 総務部企画創発課長 主任研究員]
井口 貢 氏 [同志社大学政策学部政策学科教授]
松田 美幸 氏 [福岡地域戦略推進協議会シニアフェロー]
南 賢二 氏 [高崎経済大学地域政策学部観光政策学科教授]

- ◆16:40～17:15 会場との意見交換セッション

2. 分科会・個別報告 2016年7月9日(土)9:40～12:10 7月10日(日)9:40～12:10

※詳細につきましては、後頁をご覧ください。



【写真】 シンポジウム



【写真】 2016年度総会

分 科 会 (1日目)

2016年 7月 9日(土) 9:40~12:10

① 政治行政 分科会

M 706

わが国における政治・行政改革の検証

上崎 哉 (近畿大学)

第一報告	景観政策領域における変化について	上崎 哉	近畿大学
第二報告	自治体間連携における契約手法の課題と展望	岩崎 忠	高崎経済大学
第三報告	大都市制度の昇格階層における中核市・特例市 —昇格を選択しない自治体から見た逆説的アプローチ—	爲我井 慎之介	高崎経済大学大学院

座長：上崎 哉(近畿大学)口
 討論：井川 博(政策研究大学院大学)、福沢 真一(常盤大学)
 総括：井川 博(政策研究大学院大学)
 企画：上崎 哉(近畿大学)

② 農業・農村 分科会

M 705

農業・農村における地域活性化・振興活動の新たな変化 —社会・経済の構造変化に着目して—

大仲 克俊(岡山大学大学院)

第一報告	農家民泊における外国人観光客の受け入れ(仮題)	多田 喜一郎	春蘭の里実行委員会
第二報告	農産物直売所の新たな展開	小柴 有理江	農林水産政策研究所
第三報告	日本酒製造事業者の新戦略—酒米の自社生産と輸出戦略—	大仲 克俊	岡山大学大学院

座長：橋口 卓也(明治大学)
 コメント：小松 泰信(岡山大学大学院)、若林 憲子(元高崎経済大学地域科学研究所)
 総括：吉田 俊幸(農政調査委員会)
 企画：大仲 克俊(岡山大学大学院)

分 科 会 (2日目)

2016年 7月 10日(日) 9:40~12:10

③ 都市 分科会

M 706

人口減少時代における都市再生策の現状・課題・展望 —「郊外」の諸相を探る—

山下 博樹(鳥取大学)

第一報告	建築計画的視点からみた大阪都市圏郊外の大規模ニュータウンの現状と展望	伊丹 康二	大阪大学
第二報告	東京大都市圏郊外における中古集合住宅と最寄駅徒歩圏居住	佐藤 英人	高崎経済大学
第三報告	郊外における学校再編と都市政策の関係	三橋 浩志	文部科学省
エキスカッション	千里ニュータウンを中心に【13時30分~16時(予定)】	伊丹 康二	大阪大学

座長：山下 博樹(鳥取大学)
 コメント：内海 巖(上越市創造行政研究所)、戸所 隆(高崎経済大学名誉教授)
 総括・企画：山下 博樹(鳥取大学)

④ 地域福祉 分科会

M 705

地域の創生と地域福祉計画 —国の政策についての検証—

丸田 秋男(新潟医療福祉大学)

第一報告	市町村地域福祉計画をめぐる中央政府の政策動向	丸田 秋男	新潟医療福祉大学
第二報告	堺市社協における地域福祉推進戦略としての地域福祉(活動)計画づくり	所 正文	堺市社会福祉協議会
第三報告	国の政策と地域福祉計画の関係	井上 基之	新潟NPO協会

座長：熊澤 利和(高崎経済大学)
 討論：関谷 浩史(新潟県立大学)、熊澤 利和(高崎経済大学)、井上 基之(新潟NPO協会)、
 青木 茂(新潟医療福祉大学)、丸田 秋男(新潟医療福祉大学)、渡邊 敏文(新潟医療福祉大学)
 コメント：青木 茂(新潟医療福祉大学)
 総括・企画：渡邊 敏文(新潟医療福祉大学)

⑤ 地域大学連携 分科会

M 704

地域と大学の連携による地域政策へのアプローチ

白石 克孝(龍谷大学)

第一報告	地域活動を担う人材育成モデルの開発と地方都市への展開 —京都の大学間連携の取り組み事例から—	久保 友美	龍谷大学
第二報告	洲本市における域学連携事業の3か年の到達と展望	櫻井 あかね	龍谷大学
第三報告	京都府に求められる大学と地域との連携・協働のあり方	杉岡 秀紀	京都府立大学

座長：白石 克孝(龍谷大学)
 コメント：中谷 真憲(京都産業大学)、白石 克孝(龍谷大学)
 企画・総括：白石 克孝(龍谷大学)

個別報告（1日目）

2016年7月9日（土） 9:40～12:10

第1部会 経営・ビジネス

M 704

時間	司会	テーマ	発表者	所属
9:40～10:10	安藤 信雄 (中部学院大学) 北島 啓嗣 (福井県立大学)	地方中小製造業者における生産設備の自社開発	久保田 典男	島根県立大学
10:10～10:40		起業家精神と企業の地域コミットメントの関係	中川 衛	横浜市立大学大学院
10:40～11:10		消費者の買物利便性にもたらす小売商業支援策の有効性 —商工会議所の小売商業支援事業に着目して—	八木橋 彰	会津大学短期大学部
11:10～11:40		造船業における外国人労働力調達の実態 —広島県尾道市におけるヒアリング調査—	軍司 聖詞	早稲田大学地域・地域間研究機構 ／農業栄養専門学校
11:40～12:10		モンゴル国における中古車輸入の実態分析	Baatar Erdenedalai 劉 庭秀 戸敷 浩介	東北大学大学院 東北大学 宮崎大学

第2部会 コミュニティ・福祉

M 602

時間	司会	テーマ	発表者	所属
9:40～10:10	池田 幸應 (金沢星稜大学) 伊藤 亜都子 (神戸学院大学)	地域中小・小規模事業者の障害者雇用 —障害者雇用優良中小企業等経営者への調査から見えたもの—	川上 憲繁	横浜市立大学大学院
10:10～10:40		地域包括ケアシステムにおける日常生活圏域と地域住民の生活圏に関する予備的研究	渡邊 敏文 丸田 秋男 青木 茂	新潟医療福祉大学 新潟医療福祉大学 新潟医療福祉大学
10:40～11:10		離島におけるコミュニティ活性化についての一考察 ～新潟県佐渡市相川地区稲鯨集落の取り組みから～	青木 茂 井上 基之	新潟医療福祉大学 認定特定非営利活動法人新潟NPO協会
11:10～11:40		子育て世代の社会移動および住環境のニーズに関する分析 —平成26年度神戸市若年女性・人口移動実態調査より—	高橋 美佐 伊藤 亜都子	高崎経済大学 神戸学院大学
11:40～12:10		金沢マラソン2015の社会的効果に関する研究 ～地域スポーツを支える担い手育成の視点から～	西村 貴之 池田 幸應	金沢星稜大学 金沢星稜大学

第3部会 都市政策

M 601

時間	司会	テーマ	発表者	所属
10:10～10:40	新保 正夫 (前橋市役所) 山下 博樹 (鳥取大学)	高速交通網の発達による東北の中核都市仙台の変化と新たな役割	木村 政希	東北活性化研究センター
10:40～11:10		「かわいい」価値観をいかした都市マーケティング戦略の可能性と課題	山下 永子	九州産業大学
11:10～11:40		京都市におけるユニバーサルデザイン政策の特徴と課題	猪瀬 雄哉	常磐大学大学院
11:40～12:10		地域活性化に関する情報評価の観点	藤本 理弘	高崎商科大学

個別報告（2日目）

2016年7月10日（日） 9:40～12:10

第4部会 地方行政・財政

M 602

時間	司会	テーマ	発表者	所属
9:40～10:10	岩崎 忠 (高崎経済大学)	地域における情報資源に着目したRuby City MATSUE プロジェクトから推察する地域政策の持続要因	本田 正美	島根大学
10:10～10:40		ロジックモデルを活用した成果指標の設定状況の分析 —「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を対象として—	林 健一	中央学院大学 社会システム研究所
10:40～11:10		PF型ESCO事業におけるVFMに関する諸課題について —埼玉県浦和地方庁舎ESCO事業を事例に—	大島 誠	横浜市立大学
11:10～11:40		2000年代の日本の地域資金循環構造	中村 研二	(株)日本経済研究所

第5部会 地域産業

M 601

時間	司会	テーマ	発表者	所属
9:40～10:10	佐々木 茂 (高崎経済大学)	地域における事業承継政策の展開と慣習・文化との軋轢	石川 和男	専修大学
10:10～10:40		「地域イノベーション」概念の再考 —地域レジリエンスの観点からの理論的考察—	佐藤 充	福知山公立大学
10:40～11:10		地域活性化における「地域ブランド」の取り組みへの一考察	古平 浩	大正大学
11:10～11:40		地域物産品の販路確保・ブランド化の研究～食品を中心に～	北島 啓嗣	福井県立大学
11:40～12:10		B級ご当地グルメのブランド化に成功する市民主導型支援組織 —日生カキお好み焼き研究会を事例に—	近藤 健一	兵庫県自治研修所

第6部会 農業・農村

M 402

時間	司会	テーマ	発表者	所属
9:40～10:10	大仲 克俊 (岡山大学)	国民運動史としての農山漁村経済更生運動 ～長野県を中心に～	土屋 智	高崎経済大学大学院
10:10～10:40		農林漁家民宿とインバウンド 事例地: 三重県鳥羽市	若林 憲子	元 高崎経済大学 地域科学研究所
10:40～11:10		三大都市圏における都市農業振興施策の比較 —東京都・愛知県・大阪府の3都府県を事例として—	石原 肇	大阪産業大学
11:10～11:40		九州奥州における観光客満足度及びロイヤルティに関する研究 —八女コースを事例に—	金 承珠	東洋大学

第7部会 教育

M 401

時間	司会	テーマ	発表者	所属
9:40～10:10	柘植 隆宏 (甲南大学)	学校選択制の政策 —教育学と経済学の論点比較—	鈴木 宏幸	高崎経済大学大学院
10:10～10:40		新規学卒Uターン就職者に対する就職促進支援に関する研究	中里 弘穂	福井県立大学
10:40～11:10		小規模特認校制度に関する保護者の認知度とニーズに関する考察: 栃木市立保育園の保護者アンケートの分析から	星野 千恵子	宇都宮大学大学院
11:10～11:40		廃棄物教育の課題と意義 —被災地における復興教育支援事業の成果を中心に—	劉 庭秀 齋藤 優子 李 熙娥 Baatar Erdenedalai	東北大学 東北大学 仙台白百合女子大学 東北大学大学院